

業務部速報

No. 4

発行 15. 6. 26

JR東労組 業務部

申32号

JR東日本グループ事業の再編に関する申し入れ

【事業再編の概要】

◇首都圏エリア

J R 高崎鉄道サービス㈱、J R 水戸鉄道サービス㈱、J R 千葉鉄道サービス㈱の駅業務受託事業を(株)J R 東日本ステーションサービス (JESS) に集約

◇東北エリア

- ①(株)ジャスター、(株)ジェイアールアトリスの駅業務受託事業及び構内事業等を J R 東日本東北総合サービス㈱(TSS) に集約。
- ②(株)ジャスターのホテル事業等を盛岡ターミナルビル㈱に移管
- ③(株)ジェイアールアトリスの不動産賃貸事業の一部を秋田ステーションサービス㈱に移管

◎ J R 東日本グループの経営戦略と今後の見通しについて

確認事項

- 企業の経営資源を集中させ競争力を高める
- 地域に合った事業展開で、地域と共生する
- グループ会社の使命に特化した強みを活かし、その使命を果たす事で利用者へ選択される事業を目指す

事業再編を通じて、J R 東日本グループの価値を向上させることを確認!!

◎ 駅業務受託会社を集約する理由について

確認事項

- JR東日本ステーションサービスは、駅業務だけではなく、研修センターの業務も担っている。
- JR東日本東北総合サービスは、駅業務未経験者の採用を行っており、東北エリアに広めることができる(採用についてスケールメリットを活かす)

駅業務の中核会社を集約することで、安全とサービスレベルを高める!!

◎ (株)ジャスターと(株)ジェイアールアトリスが果たしてきた役割について

確認事項

- 現在の駅ナカ事業の考え方が確立されていない中で、生活サービス事業の礎を作っていただき感謝している
- エルダー雇用の場だけではなく、地域の雇用の場の確保に努め、地域の発展に寄与してきた

地域の雇用の場を創造するために、引き続き各支店を中心に取り組む事を確認!

◎ 今後のエルダーの雇用先について

確認事項

- ①従来どおり各支社で雇用先を確保する。
- ②従来までのエルダー雇用のあり方が事業再編によって変わることはない。

◎ 長野・新潟支社で事業再編を行わない理由について

確認事項

- ①子会社として事業が確立しているので、現時点で再編する考えはない
- ②今後については、状況を把握し判断する

◎ J R 東日本グループ事業を再編する目的について

確認事項

- ①グループの最重要課題である安全性向上
- ②グループのサービスレベル向上
- ③グループ会社の強みを活かした体制確立

事業再編を通じて、安全とサービスレベルのフラッシュアップを図る!!

◎ 水戸・千葉・高崎鉄道サービスの将来展望について

確認事項

- ①駅舎清掃や車両整備は鉄道がある限り残る業務
- ②各会社が担当するエリアで業務を担うことが主たるミッションであり、この形は変更しない

グループ会社の収益性を確保し、会社の強みを活かした体制を確認!!

◎ 事業再編に関係するグループ会社の労働条件について

確認事項

- ①年間休日
JESS、TSS、水戸・千葉・高崎鉄道サービス…114日
盛岡ターミナルビル…97日
※休日のあり方について、会社間で調整中!
※出向特別措置で補完する!
- ②年間所定労働時間
JESS、TSS、水戸・千葉・高崎鉄道サービス…1882時間30分
盛岡ターミナルビル…2010時間
※その他の労働条件については別途示す!

休日数の違いは大きな問題!!
議論経過をグループ会社に伝え、必要な検討を要請することを確認!!

◎ グループ会社での人材確保について

確認事項

- ①再編によるスケールメリットを活かして人材を確保する。
- ②支店を設置し、本社の支援の下に、最適な採用をおこなう

事業移管後もJ R 東日本として責任を持ってフォローすることを確認!!

安全を第一にしたJ R 東日本グループを創造し、
グループ会社で働く全ての仲間の労働条件向上を実現しよう!!